

みんなとともに笑顔いっぱい — 「学びあい」「認めあい」「高めあい」 —



みんなとともに



念のための確認です。前回「登下校時のマスク着用」について書きましたが、「マスク着用が基本である」ことには変わりはありません。ただし、運動時と同様に考えられる「登下校時」においては、気温や湿度が高いときは「熱中症」のリスクが高まるので、そのときは「熱中症への対応を優先する」ということです。なお、本人や家庭の考えが「常時着用」の場合は、もちろんそれで構いません。



「タブレット端末『iPad』の重点活用日」について

「学校だより 第9号」で「福島型オンライン授業」について触れましたが、「本校としての取組」を一步進めていきます。

【本校の取組】

◇ 毎週水曜日を「iPad 重点活用日」として、「家庭への持ち帰り」をします。

- 「iPad」を使用する課題を出します。
例) ・ 「カメラ機能」を使って写真を撮る。
・ 「MetaMoji ClassRoom」のアプリを使って問題を解く。
・ 「インターネット」を使った調べ学習をする。
 - 「学校だより」を「MetaMoji ClassRoom」のフォルダに入れます。ご家族皆様をご覧ください。(準備が整い次第、実施していきます。なお、当面は、これまで同様に印刷物でも配付します。)
- ※ 今後も、本校webページにも「学校だより」を載せていきます。(毎週金曜日の予定)

＜「MetaMoji ClassRoom」とは＞

教師が児童の学習状況をリアルタイムに把握できる授業支援アプリです。紙に書いているような感覚で編集でき、一斉学習・個別学習・グループ学習といった授業シーンに合わせて授業ノートを作成できます。

- ・ PDFの教材を、児童のタブレットにペーパーレスで配付できる。
- ・ 児童は、配られた教材の上で自由に手書き学習ができる。
- ・ 超拡大して細かく編集したり、写真や音声・動画などの貼り付けができる。
- ・ 教師は、児童の学習内容をリアルタイムでモニタリングできる。
- ・ ワークシートを共有して、実験のまとめや新聞作りなど協同学習ができる。

＜「水曜日」にする理由＞

- 放課後の活動がない日であり、早く帰宅した時間を「iPad」の活用に充てることできる。
- ※ 「週末」の持ち帰りも考えられるが、2つの不安がある。
 - ・ 「金土日」の使用により使用時間が長くなるため、ICT活用の「負の面」が強く出る不安がある。
 - ・ 「週末」や「週初め」は持ち運ぶ物が多く、「iPad」の重さが負担になる不安がある。

【校長のつぶやき】 その79 「ととのう」

最近、「ととのう」という言葉を見たり聞いたりする場面が続いた。1回目は、県校長会の会議に行った時である。隣にいた郡山市の方に「何か運動をなさっているのですか」と聞いたら、「走っています。大会にも出ています。」という答えに続けて、「走ると、体が“ととのう”のです。それが、好きなのです。」と話されていた。2回目は、地区校長会の会報の原稿である。ある方が「ととのう」という題で、自分の趣味について触れていた。それは、「サウナ」である。サウナに入ったり水風呂に入ったりを繰り返すと、体が“ととのう”のだそうである。あまり“ととのう”という言葉を使ったことがなかったので、新鮮な感じがした。

さて、私の“ととのう”は、暑い中での“機械での草刈り作業”だろうか。刈った草が揃うように、回転刃を右から左へと動かす。歩きながら端まで刈ると戻ってきて、また同じ作業を繰り返す。最初は頭の中は“雑念”でいっぱいである。しかし、単純作業を繰り返すなかで、汗とともに頭の中は“無”に近づいていく。もしかすると、あれが“ととのう”という感覚なのだろうか。保護者の方の中にも“ととのう”感覚が分かる方がおいでになることだろう。また、子どもの中にも、言葉にはできなくてもすでに感じている子がいるかもしれない。皆さんの“ととのう”場面を、ぜひ教えていただけるとありがたい、と考えている。